

学科・コースだより

No.1

平成20年5月発行

〒626-0074 京都府宮津市上司1567-1

校長 井上 泰夫

URL : <http://www1.kyoto-be.ne.jp/kaiyou-hs>

TEL : 0772-25-0331 FAX : 0772-25-0332

5月7日(水)～13日(火)の5日間、2年生全学科・コースで集中実習が

実施されました。2年生にとって初めての専門的な実習となりました。

(感想文より)

食品経済コースの生徒より

集中実習は、はじめもっと楽なものかと思っていました。なぜなら、先輩などに聞いているとすごく楽しそうなことばかり言っていたからです。

集中実習ではジャムやテンプラを作りました。ジャム製造では煮詰めていく作業に入ると、すごく熱くなったジャムが跳ねてきて混ぜるときに皮膚についてとても熱かったです。テンプラ製造では、魚を洗う時に背びれが指に刺さって苦労しました。揚げるときには、揚げ上がりの色が悪く、このままでは商品にはならないと思いました。

今回の実習で製造したテンプラやマーマレードを持って帰り、親に食べてみてもらうと、「おいしい。」と言って、食べてもらえて、うれしい気持ちになりました。しかし、全体的には、改善点も多くあったので、今後は、今回みたいに失敗を多くしないようにしていきたいと思います。そうすれば、将来、生産の仕事に就きノルマを与えられたときに、しっかりとノルマを達成できて、会社のために役に立っていくようになると思うからです。

海洋科学科の生徒より

今回の実習で私は、琴引浜での生物相調査や、同定作業、福井県立大学の見学を通して、自分は将来どのような事を学びたいのか、どのような職業に就きたいのかが、まだまだ曖昧ですが見えてきたように思えた。また、普段の授業では絶対に体験することができない『自然と直接触れ合って、自然から学びとる』ことができた。

(～中略～)

これまでの私は、日々の学習や今回のような実習にしても「いつか、そのうちに役に立つだろう」という薄い思いで学習していたが、今回の実習で、日々の学習や、先生方が何気なく言うことでも、将来への知識の貯金としていかななくてはいけないと強く感じた。

今回の実習で手に入れた知識は今後の専門教科や実習の授業などに活用していきたい。その知識をさらに上の学校でも生かしていきたいので、そのためにも日々の普通教科も頑張らないといけないと感じた。



海洋科学科

大学進学を目指す学科です。限りなく普通科に近いカリキュラムとなっています。

5月7日(水)

生物相調査

京丹後市の琴引浜で、磯に生息する生物の生物相調査を行いました。調査後は、海浜清掃をしました。



5月8日(木)

種の同定作業

前日に採集した生物の同定を行いました。図鑑で和名や生態などを調べ、重量や体長も測定しました。



5月9日(金)

報告書作成

調査の結果をレポートにまとめました。写真や表を挿入して、見やすい報告書を作成しました。



5月12日(月)

福井県立大学見学

福井県立大学小浜キャンパスを見学しました。恵まれた環境の中での大学生活に憧れを抱きました。



5月13日(火)

発表会

班毎に5日間のまとめを発表しました。最後に、海洋科学科で取り組んでいる金魚の飼育の学習をしました。



航海船舶コース

船舶職員(海技士(航海))になるための
学習をするコースです。

5月7日(水)~11日(日)の5日間、実習船「みずなぎ」に乗船して航海実習を行いました。

航海当直 (ワッチ)

航海当直(ワッチ)や出入港作業を通して、航海・運用に関する実践的な学習をすることができました。



新潟港着岸

新潟港では日本海区水産研究所の研究員が乗船されました。また、遭訓(船上での避難訓練)も行いました。



マイワシ資源調査

マイワシの資源調査の意義や方法について、研究員の方から丁寧に教えていただきました。



海洋観測

プランクトン採集を行った地点の水深・塩分・水温、透明度などのデータをすべて測定しました。



生徒室での学習

当番活動以外の時間は、「みずなぎ」の船長や船員から専門用語を教えもらい、レポート作成をしました。



海洋技術コース

海洋構造物の設計・施工を学び、マリン
エンジニアを目指すコースです。

5月7日(水)

平板測量 (細部測量)

「平板」の取り扱いについて学びました。職員玄関前と生徒昇降口前の1/100図を測量し、図面化しました。



5月8日(木)

平板測量 (細部測量・骨組測量)

水中施工実習室(水深10mプール)の細部測量を行い、1/100図を製図し、誤差調整も学びました。



5月9日(金)

アーク溶接・ガス溶断

溶接機材の取り扱いについて学んだ後、実際にアーク溶接やガス溶断の練習をしました。



5月12日(月)

水準測量

土地の高低差や高さを求める「水準測量」についての講義の後、基本的な実技を学びました。



5月13日(火)

水準測量・まとめ

水準測量の結果、グラウンドは水はけが良くなるように微妙な傾斜がつけられていることが分かりました。



栽培環境コース

魚介類についての知識や飼育技術について学習するコースです。

食品経済コース

食品の製造や安全管理、情報処理技術を活用した流通を学ぶコースです。

5月7日(水)

ヒラメ採卵作業・受精卵観察

栽培漁業実習棟にて、ヒラメの採卵を行い、受精卵の卵割の様子を顕微鏡で観察しました。



5月8日(木)

マガキ種苗の板付け実習

京丹後市久美浜町湊漁協にて、マガキ種苗(赤ちゃん)をホタテの貝殻に付ける実習を行いました。



5月9日(金)

流れ藻調査

実習船「かいよう」に乗船して、流れ藻調査及び稚魚ネット調査を行い、顕微鏡で観察しました。



5月12日(月)

トラフグ稚魚收容

近畿大学水産種苗センターより、トラフグ稚魚1200尾を收容しました。これから大切に育てていきます。



5月13日(火)

魚類実験(水分・灰分定量)

魚体に水分や灰分(ミネラル)がどのくらい含まれているかを実験しました。



5月7日(水)

マーマレード、ピール製造

地元産の夏みかんを使って、マーマレード、ピールを製造しました。製造業の難しさを学ぶことができました。



5月8日(木)

ニンジンジャム・ゼリー製造

ニンジンジャムとニンジンゼリーを製造しました。デコレーションも、商品価値を高める方法も学びました。



5月9日(金)

テンプラ製造

本校の代表的な商品であるテンプラの製造を行いました。アジの捌き方から機械の取り扱いまでを学びました。



5月12日(月)

イチゴ収穫

近年、生産量が減少していたイチゴジャムですが、3年生と合同で収穫したので、昨年度以上に収穫できました。



5月13日(火)

イチゴジャム製造

前日に収穫したイチゴで約300瓶のイチゴジャムを製造し、伝統的な人気商品を継続させることができました。

